

版番号  
8.0改訂日:  
01. 04. 2023整理番号:  
100000010837前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : Sikaflex® -521 UV

製品コード : 100000010837

**供給者情報**

会社名 : シーカ・ジャパン株式会社  
〒107-0051  
東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F

電話番号 : 03-6434-7291

FAX番号 : -

電子メールアドレス : EHS@jp.sika.com

緊急連絡電話番号 : (0463) 24-4976

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

### GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

### GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

### 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
二酸化チタン	13463-67-7	>= 2.5 - < 10	1-558, 5-5225
メタノール	67-56-1	< 0.1	2-201

## 4. 応急措置

一般的アドバイス : 特別な応急措置が必要になる危害要因はない。

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。



版番号  
8.0

改訂日:  
01. 04. 2023

整理番号:  
100000010837

前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。  
石けんと多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。  
コンタクトレンズをはずす。  
洗浄中は眼を大きく開ける。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。  
重要な影響または危険性は不明。  
健康影響と症状のより詳細な情報はセクション 11 を参照ください。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 個人保護については項目 8 を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 環境に対する特別処置は必要ではない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。



版番号  
8.0

改訂日:  
01. 04. 2023

整理番号:  
100000010837

前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

取り扱い上の注意点は特になし。  
化学製品を取扱う場合は衛生措置の基準に従う。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。

### 保管

安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
地域の規則に従って保管すること。

混触禁止物質 : 他の製品との混蔵には、特別の制限はなし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (ばく露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
二酸化チタン	13463-67-7	TWA	10 mg/m <sup>3</sup> (二酸化チタン)	ACGIH
メタノール	67-56-1	ACL	200 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	200 ppm 260 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 2 群 : ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質, 経皮吸収				

### 生物学的職業ばく露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
メタノール	67-56-1	メタノール	尿	作業終了時	20 mg/l	日本産業衛生学会
		メタノール	尿	シフト終了時 (ばく露停止後できるだけ早く)	15 mg/l	ACGIH BEI

### 保護具

呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置がない場合、あるいは、ばく露評価によって、ばく露量が推奨ばく露ガイドライン以下であることが証明さ



版番号  
8.0

改訂日:  
01. 04. 2023

整理番号:  
100000010837

前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

れない限り、呼吸用保護具を着用すること。  
マスク用のフィルターのクラスは、物質を扱っているときに発生する可能性のある最高予測汚染物質濃度（ガス／蒸気／エアゾール／粒子）に適したものでなければならない。

- 手の保護具 : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取扱いの際、適合している化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 眼の保護具 : リスク評価によって必要とされる場合は、適合している保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : ペースト
- 色 : 多様
- 臭い : データなし
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- 融点/ 範囲/ 凝固点 : データなし
- 沸点/ 沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 (固体、気体) : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界  
爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値
- 引火点 : 約 150 ° C  
(方法: 密閉式引火点試験)
- 分解温度 : データなし
- pH : 非該当
- 蒸発速度 : データなし
- 自然発火温度 : データなし

版番号  
8.0改訂日:  
01. 04. 2023整理番号:  
100000010837前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

---

粘度		
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	> 20.5 mm <sup>2</sup> /s (40 ° C)
溶解度		
水溶性	:	不溶
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	0.01 hPa
密度及び/又は相対密度		
密度	:	約 1.38 g/cm <sup>3</sup> (23 ° C)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	データなし
酸化特性	:	データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	製品は化学的に安定である。
危険有害反応可能性	:	特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

### 成分:

#### メタノール:

急性毒性 (吸入)	:	LC50: 3 mg/l ばく露時間: 4 h、試験環境: 蒸気 方法: 急性推定毒性変換値
-----------	---	--



版番号  
8.0

改訂日:  
01. 04. 2023

整理番号:  
100000010837

前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

**皮膚腐食性／刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**呼吸器感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（呼吸器）の障害のおそれ。

**誤えん有害性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

---

12. 環境影響情報

**生態毒性**

データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壤中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当



版番号  
8.0

改訂日:  
01. 04. 2023

整理番号:  
100000010837

前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

#### 他の有害影響

##### 製品:

生態系に関する追加情報 : この製品に関する情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

##### 陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

##### 航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

##### 海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

#### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

### 15. 適用法令

#### 関連法規

##### 消防法

非危険物

##### 労働安全衛生法

##### 製造等が禁止される有害物

非該当

##### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当



版番号  
8.0

改訂日:  
01. 04. 2023

整理番号:  
100000010837

前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

#### 健康障害防止指針公表物質

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
酸化チタン（I V）	191	>=1 - <10

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
酸化チタン（IV）	191

#### 特定化学物質障害予防規則

非該当

#### 鉛中毒予防規則

非該当

#### 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

#### 有機溶剤中毒予防規則

非該当

#### 毒物及び劇物取締法

非該当

#### 化学物質排出把握管理促進法

非該当

国際化学兵器禁止条約（CWC）の有毒化学品および前  
駆体の添付文章 : 非該当

#### 高圧ガス保安法

非該当

## 16. その他の情報

#### その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値（TLV）  
ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的ばく露指標（BEI）  
安衛法（管理濃度） : 作業環境評価基準、健康障害防止指針





版番号  
8.0

改訂日:  
01. 04. 2023

整理番号:  
100000010837

前回改訂日: 23. 03. 2022  
初回作成日: 12. 01. 2016

日本産業衛生学会 : 許容濃度等の勧告 - II. 生物学的許容値  
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度  
ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

この安全データシートに記載されている内容は、発行時における当社の最新の知識によるものですが当社はその内容につき何らの保証をなすものではありません。

保証については、当社の最新の一般販売条件が適用されます。  
製品を使用または適用する前に、必ずプロダクトデータシートをご検討下さい。  
JP / JA